

News Release

NTT西日本



西日本電信電話株式会社

(報道発表資料)

2023年11月27日
西日本電信電話株式会社
大分支部

「マイナビツール・ド・九州 2023」を「いまどこ+」サービスでサポート ～ICTのチカラで自転車レースを“見える化”～

西日本電信電話株式会社 大分支部（支店長 三笥 博幸、以下 NTT 西日本 大分支部）は、2023年10月6日（金）～10月9日（月・祝）にかけて開催された「マイナビツール・ド・九州 2023」（主催：ツール・ド・九州 2023 実行委員会、一般社団法人ツール・ド・九州）に、ブロンズパートナーとして協力大会事務局と連携し、「いまどこ+^{※1}」サービスを活用して大会運営をサポートしました。また、大分ステージ・フィニッシュエリアのイベント会場ではブース出展し、幅広い年齢層のみなさまに組みをご紹介しますことができました。

※1：「いまどこ+」サービスは NTT スマートコネクスト社が提供する位置情報共有サービスです。

<<https://cloud.nttsmc.com/imadoko/>>

1. 実施概要

「マイナビツール・ド・九州 2023」は、九州の経済団体トップと各県知事で構成される九州地域戦略会議において、ラグビーワールドカップのレガシーの持続的継承や九州でのサイクルツーリズムの推進、近年九州を襲った自然災害からの復興を象徴するイベントとして開催を決定した UCI（国際自転車競技連合）公認のサイクルロードレースです。第1回大会は、2023年10月6日～9日に福岡県、熊本県、大分県で開催されました。大会当日はレース運営車両へ「いまどこ+」スマートフォンを搭載し、観覧者が現在のレース集団の走行位置をアプリで閲覧できるようにするなど、「いまどこ+」サービスを活用したレース観戦にご活用いただきました。あわせて、今大会ではボランティア参加の皆さま向けに、「いまどこ+」サービスを活用してボランティア移動バスの走行位置を確認できるようにし、大会を運営する皆さまのサポートも行いました。

また、大分ステージ・フィニッシュエリアで開催された、イベント会場ではNTT 西日本 大分支店よりブース出展を行い、NTT スマートコネク트가提供する「いまどこ+」を利用した会場周辺のポイントを周遊するスタンプラリーの体験や、NTT ソノリティ株式会社が展開する音響ブランド「nwm(ヌーム)」※²の製品体験ブースを設置し、音を閉じ込める技術（PSZ:パーソナライズドサウンドゾーン技術）を使用した、耳をふさがずに、かつ音漏れを最小限に抑える画期的なオープンイヤー型のワイヤレスイヤホン「nwm MBE001」を体験していただきました。

※2：「nwm」はNTT ソノリティ株式会社が展開する音響ブランドです。<<https://www.nwm.global/>>



位置情報アプリ「いまどこ+」を利用したスタンプラリー体験



耳を塞がないオープンイヤー型ワイヤレスイヤホン「nwm MBE001」を着用体験

2. 「いまどこ+」、音響ブランド「nwm」の体験展示ブース概要

- (1) 開催日時：2023年10月9日（月・祝） 11:00～16:00
- (2) 開催場所：大分ステージ フィニッシュエリアイベント広場
（日田市田島2丁目6-1 日田市役所駐車場）
- (3) 体験内容：いまどこ+のデモ展示・スタンプラリーの体験、オープンイヤー型イヤホンの体験
- (4) 体験者数：約80名

3. 今後の展開

NTT 西日本 大分支店は今後も、今回の取り組みに限らずさまざまな活動を通じて、地域の活性化及びSDG s 推進に向けた取り組みを積極的に行ってまいります。



ご来場いただいた佐藤樹一郎大分県知事

※ニュースリリースに記載している情報は、報道発表日時点のものです。最新の情報とは異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。